

事業名	林業資金対策			調書番号	64
細事業名	林業用優良苗木確保資金貸付金	財務コード	0133		
担当部課室	森林環境 部 林業振興 課 担い手・森林組合 担当 (内線)			6215	

事業の概要

実施期間	始期 S56 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	山梨県森林組合連合会			
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 森林組合</td> <td>その対象をどのような状態にして 造林事業に必要な優良苗木の確保</td> <td>結果、何に結びつけるのか 県内森林の健全な育成と林業の発展</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 森林組合	その対象をどのような状態にして 造林事業に必要な優良苗木の確保	結果、何に結びつけるのか 県内森林の健全な育成と林業の発展
だれ(何)を対象に 森林組合	その対象をどのような状態にして 造林事業に必要な優良苗木の確保	結果、何に結びつけるのか 県内森林の健全な育成と林業の発展		
内容	森林の造成に必要な林業用優良苗木を山梨県森林組合連合会が一括して確保し、市価よりも安価に各森林組合へ供給するために必要となる資金を貸し付け 貸付先:山梨県森林組合連合会 貸付額:(H28)40,000千円 利率:1.8%			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	貸付金の需要(実績) 目標は、県予算額(単位:千円)	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績(見込)	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	県森連の苗木購入単価と市価の価格比較(1/1の苗木購入単価/市価 9割を指標(単位:円))	目標	90%	90%	90%	90%	90%	90%
		実績(見込)	90%	89%	89%	86%	96%	90%
		達成率	100%	101%	101%	105%	94%	100%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	森林組合連合会が、一括して苗木等を購入することで、優良な苗木等を市価より安価に確保することができ、経済的メリットが生じている。
成果指標	b		

「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(森林造成に必要な優良苗木の確保により確実に造林が実施され、県内森林の適切な管理に繋がるため、県の関与は妥当)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	経営基盤が脆弱な森林組合が、安価な苗木を確実に確保し、再造林を行うことで、森林の公益的機能の維持増進が図られる。また、今後、県内の伐採量の増加に伴い、植栽面積が増加が見込まれるため、当該事業の必要性は更に高まる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )
その他	説明	各森林組合の経営状況や造林実績などから、事業規模は適当であり、見直しの余地は無い。
見直しの必要性	無	各森林組合の経営状況や造林実績などから、事業規模は適当であり、見直しの必要性は無い。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。